

## 第16回あわらし子ども・子育て会議録

1 日 時：令和元年11月1日（金）19時15分～20時30分

2 場 所：あわらし市役所 102会議室

3 出席者

(1) 委員

森俊之委員（会長）、浅野壽恵委員（副会長）、大家茂夫委員、  
五十嵐美根子委員、先川原八千代委員、見澤幸治委員、  
竹内浩美委員、木谷眞知子委員、塚田美紀子委員  
《欠席者》坂井雅至委員、八木しのぶ委員

(2) 事務局

《子育て支援課》

中道佐和子課長、藤井恭代子育て支援GL、村中直子児童福祉GL、  
井上堯之主事

4 議題

(1) 第2期あわらし子ども子育て支援事業計画（案）について

5 承認事項

会議の経過

○事務局 （開会あいさつ）

（会議の趣旨について説明）

○事務局 ここからは規定により、森会長に議事進行をお願いいたします。

○議 長（会長）議題に従い、第2期あわらし子ども子育て支援事業計画（案）  
について、事務局より説明してください。

○事務局 【資料に基づき説明】

○議 長（会長）第1章について、前書きの部分、国の施策等については短く  
することよろしいか。平成21年度、24年度あたりからまとめて  
書いてもらうということで、よろしいか。

○全 員 異議なし。了承。

○議 長（会長）個人的意見だが、特定妊婦という言葉が出てくる。そんなに何度  
も出てくるわけではないので、わかりにくい言葉ではなく、簡単な表  
現で「支援を要する妊婦」などに置き換えてはどうか。

- 事務局 了承した。訂正する。
- 議長（会長）第2章について、どうか。グラフに関しては平成25年度あたりからの記載とする予定とのこと。
- 竹内委員 グラフの項目で、最後まで出ていないものがある。
- 事務局 了承した。訂正する。
- 議長（会長）前回計画の数値を併記してほしいと前回会議でお願いしたが、実際にしてもらおうと見づらい部分がある。文章で説明してもらっても大した行数にはならないので、きちんと比較を文章で表現してもらおうとどうか。
- 事務局 その方が見やすいと思われる。了承した。文章化する。
- 議長（会長）細かいが、18ページ、実績数というのは？
- 事務局 実績の利用者数。
- 議長（会長）この表現でよいのか、行政用語的に問題ないのか。
- 事務局 確認する。
- 議長（会長）第1期計画ではこの言葉を使っている。この表現でよいのか、改めて疑問に思った。第1期で間違っている部分があれば第2期で直してほしい。
- 事務局 確認の上、直せる部分は直す。今の部分は「利用者数」に訂正する。
- 議長（会長）延長保育の部分、表現が分かりにくい。
- 事務局 中間見直しをかけており、延長保育に関しては定員を増やしている。「中間見直しを行い、定員を増やしている。延長保育を希望する人について、当初見込みより上回って受け入れることができた」という感じの表現に直す。
- 議長（会長）子育て短期支援事業については、夜間保育所という記載が第1期にはあったので、夜間保育所の廃止年度も書けるとよい。
- 事務局 了承した。
- 議長（会長）20ページのところ、円グラフを入れればよいか。
- 大家委員 この場合は円グラフより帯グラフの方が比較できて見やすい。前回との比較になるので。
- 事務局 帯グラフを入れる。了承した。
- 議長（会長）第2章について、他にないか。
- 先川原委員 16ページのグラフもニーズ調査よりでよいか。これだけ書いていないが。
- 事務局 「ニーズ調査より」になる。記載する。
- 先川原委員 「ニーズ調査より」という文言は必要か。

- 事務局 必要だと思われる。
- 議長（会長）他のページにも項目が全部記載されていない部分がある。チェックしてほしい。若干言葉は変えてもよい。内容がわかれば。
- 事務局 チェックする。文言についても確認する。
- 議長（会長）では第3章。基本理念のところでご意見はないか。
- 竹内委員 生みって、出産の場合は産みだが、この場合は「産み」ではないのか。
- 事務局 子どもから見ると「生み」で、母から見ると「産み」となる。第1期のときは「生み」だったが、今、直すのなら直せる。
- 議長（会長）今回の場合、どちらがよいのか。
- 事務局 母が住んで、産んで、育てるとなると「産み」かもしれない。
- 浅野委員（副会長）産みの方がしっくりくるかもしれない。生みは「新しく物事を生み出す」という意味なので。赤ちゃんを産むということなら「産み」のほうがしっくりくるような感じ。
- 先川原委員 主語とのつながりは大丈夫か。母だけでなく、子育てに関わる人がとなると、どうか。
- 議長（会長）母だけでなく、父や周りの人が新しい関係性を得たり、関わることによって生まれるものなど、色々な意味合いもこめると「生み」でもよいのでは。「生」のほうが意味が広いならその方がよいのではと思う。
- 事務局 生には物を新しく生み出すという意味がある。古事記で国が生まれるというのは「生」を使う。
- 議長（会長）「産」という字も産業などにも使われているし。
- 事務局 理念なので、どちらでも。
- 議長（会長）では、多数決とする。このまま「生」という字を使う方がよいという人。賛成多数。ではとりあえず「生み」の表現で。他にご意見ありませんか。
- 大家委員 この前も言ったのですが「誰もが」にするとよいのでは。子育てに関わる人だけでなく、あわら市民みんなのための計画だというなら「誰もが」でよいと思うので。いやいや、そこまで広い意味にしなくていいというご意見もあるかもしれませんが。
- 議長（会長）皆さん、他のご意見は。
- 先川原委員 最大の課題とあるし、市民みんなに関わりのあることととらえてもよいのでは。
- 議長（会長）今のご意見だと「子育てに関わる人々」を「だれもが」にしてはどうかということだが、いかがか。

- 先川原委員 「だれが」というところをある程度決めた方がよいかもしれない。中の文章で述べているところと一致させないといけないと思う。
- 議 長（会長） イメージも大きく変わる。
- 浅野委員（副会長） あわら市全体の基本理念というのは、何か。全ての人が幸せを実感できるまちという感じだったと思うが。
- 事務局 この基本理念も市の方針に合わせている。総合振興計画では「暮らしやすく幸せを実感できるまち」となっている。
- 浅野委員（副会長） この計画についても「だれもが」にすると市民全体を指し示すこととなり、全体を対象とするため、対象がややぼやけるようにも思える。結局、子育てに関わる人々というのは市民全体であってほしいというのは私もそういう気持ちはある。
- 大家委員 今の話だと主語を取る方法もある。「住み、生み、育てて、幸せを実感できるまち」
- 事務局 「だれもが」という主語がついていても、なくてもどちらでもよい。
- 議 長（会長） A「子育てに関わる人々が」 B「誰もが」 C主語なしで多数決とする。B案「だれもが」多数。
- 事務局 漢字かひらがなか、どちらの表記とするか。
- 大家委員 漢字だと難しいのでひらがなでは。→賛成多数
- 議 長（会長） ひらがなで。
- 事務局 ひらがなで「だれもが」とする。
- 竹内委員 同ページの文章がくどいように思う。
- 事務局 精査し、修正する。
- 大家委員 母国語は母語ではないのか。
- 事務局 確認する。
- 議 長（会長） 第4章について意見はないか。
- 浅野委員（副会長） 基本目標 I-3 の家庭教育の充実について、家庭教育の充実というのは個々の子どもへの支援についてなのか、そうでなくこども園と小学校の連携に関することを言うのであれば学校教育の充実を持って行ってもいいのではないか。
- 議 長（会長） それだけとも言い切れない。
- 事務局 どちらにとらえても中途半端な表現になっている。修正する。
- 五十嵐委員 その部分の下の行で「こども園において、父親の一日保育教諭体験等を実施し、父親の育児参加を促進します」とあるが、父親に限定して書く必要があるのか。

- 木谷委員 現在、こども園では父親限定では行っていない。「父親」の文言を取ってもらえばよいと思う。
- 五十嵐委員 父、母だけに限らず、祖父母など家族のどなたでも参加できる形で実施をしているので。
- 事務局 了承した。「父親の」を「家族の」という言葉に修正する。育児参加の促進ではなく、育児のスキルを上げる形に書きかえる。
- 議長（会長）それとは別に父親の育児参加を促進するという表現を加えては。
- 事務局 家族全体の育児スキルの向上を図ることで家庭教育の充実を図る内容に表現を変える。
- 議長（会長）子育て世代包括支援センターと子育て世代包括支援センターこあらっこという表現がある。どちらかに統一を。
- 事務局 了承した。
- 議長（会長）第5章について。
- 事務局 【資料に基づき説明】
- 議長（会長）数字について不確定な部分がある。何かご意見あれば。  
32ページの表について、入所者数と定員、ニーズ量との違いが分かりにくい。表現を工夫するか、表の整理をしてもよいかもしれない。
- 事務局 内容について検討し、次回お示しする。
- 議長（会長）放課後子どもクラブのニーズについては、表現が細かい。  
ここまで細かくななくてもよいかもしれない。他の表ではなぜこのように見込んだのか、数式まで書かなくてよいが算出の根拠をどこかに文章化して載せたほうがよい。
- 事務局 了承した。
- 五十嵐委員 35ページの一時預かり事業の部分だが、預かり保育事業ではなく、一時預かり事業として記載していくのか。
- 事務局 事業名が第1期と異なっている。預かり保育事業に訂正する。
- 五十嵐委員 量の見込みはどのように。
- 事務局 実績から見ている。確認する。
- 議長（会長）預かりの部分、人数は延べなのか。
- 事務局 延べと思われる。延べなのか実なのか人数の所で明記する必要があるところには明記する。
- 竹内委員 パブリックコメントのスケジュールを確認したい。
- 事務局 前回の資料に基づき説明
- 竹内委員 了承。

- 議 長（会長）現状と課題、基本方針、実施方針の中に現状と課題、基本指針というのが混じっている。統一できた方がよい。
- 事務局 内容について点検し、変更できるところはして統一する。
- 議 長（会長）全体を通して、何かご意見あれば。
- 議 長（会長）他になければ、これで終了としたい。
- 事務局 次回日程について調整。12月13日（金）19：15～の予定。
- 委員全員 了承。
- 事務局 （閉会あいさつ）